

はじめに

本市は、熊本県のほぼ中部に位置し、市東部は九州山地の脊梁地帯にあり宮崎県境と接しており、市西部は八代海を隔て天草諸島を望む地形となっています。特に球磨川が八代海に注ぐ河口に発達した球磨川河口干潟は、豊かで多様な生物が成育する生態系が残されており、その保全の重要性が高まってきています。

そのような中、平成21年2月に策定した八代市環境基本計画について、本市を取り巻く社会情勢の変化や科学的知見の進展を踏まえ、計画の中間年である平成26年度に八代市環境基本計画を改定しました。その中では「人と自然が調和するまち やつしろ」を環境像として、生活環境の保全や循環型社会の推進とともに、市民の環境意識をより良いものへと変えていけるよう環境教育の推進を図ってまいります。

また、昭和50年に供用開始した八代市清掃センターは施設の老朽化が進み、焼却能力が低下していることから、市では今年度から港町に八代市環境センターの建設に着手し、平成30年度の供用開始を目指しています。

今後とも快適な生活環境を構築するために、市民の皆様とともに取り組んでまいりたいと考えております。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりますが、本書は、平成26年度に市及び関係機関が調査した結果をもとに、八代市の現況としてとりまとめたものです。多くの皆様にご高覧いただくことによって、本市の環境の現状について理解と認識を深めていただき、継続的かつ積極的な活動を進めていくための一助となれば幸甚に存じます。

平成28年2月

八代市長 中村 博生